

たからっ子道徳通信

今年度宝立小中学校の道徳推進教師を務めております。花木・小林です。

PTA 総会でもお話ししましたように、今年度本校は道徳教育推進校に認定され、10月27日(木)に研究発表会を開催します。そこで、本校の道徳教育活動の推進を図るためにも、保護者の皆様、地域の皆様方のお力をお借りしたいと思い、道徳通信を発行いたしました。この「たからっ子道徳通信」を通して保護者の皆様、地域の皆様方と共に、心豊かなたからっ子を育成していきたいと考えております。1年間どうぞよろしくお願いします。

さっそくですが、6月14日(火)の授業参観で、親子道徳を全学級で実施しようと思っております。保護者の皆様にもご協力をお願いしたいと考えております。詳しくは各担任よりアンケートなどの、お願いを致しますので、お忙しいとは思いますがご協力のほど、よろしくお願いします。

たからっ子について

宝立町の「宝」と、児童生徒全員は町の「たから」という意味から宝立小中学校の児童生徒のことを「たからっ子」と呼ぶそうです。

皆様におかれましても尊重や親しみを込めて「たからっ子」のよりよい姿を共に創造していけたらと思っております。

道徳とは・・・

子どもたちが自己の生き方を見つめ、他者との交流を通して多様な視点から話し合い、語り合うことを通して自己のよりよい生き方について考えることです。

本校では、よりよい生き方を考える際に、様々な人との交流を通して、これまでの自分を振り返り、対話しながら相手を理解し、受け入れ、これからの自分の生き方を考えることができるよう指導しています。

授業での児童生徒たちの様子



みんなが公平ってどんな様子の事だろう。



みんなはどんな考えなんだろう。

たからっ子の木

本校2階の渡り廊下に掲示してあります「たからっ子の木」です。テーマに合わせて全校児童生徒の自分の思いや考えを掲示し、お互いに認め合うための掲示です。各行事や体験活動の振り返りなどにも活用し、自分を発信したり、他者を理解するきっかけとして扱ったりしています。

第1回は「私の好きな学校の〇〇」として「わたしは」の視点で児童生徒が自らを表現しました。本校に立ち寄った際にはぜひご覧になってください。

